

2023年TPKF大会 (6月5日オンラインによる開催)



山本義武師



芳三容子師



上田勇矢師

献身の証し

武生自由キリスト教会伝道師 鈴木豊美



私は15歳の頃に洗礼を受けました。宣教師の方から「洗礼を受けなさい」と言われ「もし、この世の中に本当の神様がおられるなら素晴らしい」と考え、単純に敦賀の海で洗礼を受けました。しかし、聖書を読んだこともなく、あまり礼拝に出席したこともありませんでしたから、すぐに離れてしまいました、20歳になって教会に戻って来ました。その時、「私はあなたを見放さず、見捨てない」という御言葉が聞かれました。私は神様が私に語っておられるとわかりました。それから本当に神様を求め、すべての集いに休まずに出席するようになりました。

「見よ。わたしは新しい事をする。今、もうそれが起ころうとしている。あなたがたは、それを知らないのか。確かに、わたしは荒野に道を、荒地に川を設ける。」

ハレルヤ、主に期待しています。

ある時、1冊の本と出会い、その本が私の人生を変えるきっかけとなりました。それは南米エクアドルのアウカ族に伝道した宣教師の証しの本でした。彼らはアウカ族の言葉を覚え、カヌーに乗りスピーカーで言葉を発表した後、直ぐに殺されてしまいました。この本を読んでショックを受けました。何故このような立派な人々が、野蛮な人々の為に命を捨

てたのか理解できませんでした。人の為に命を捨てることのできるなんて、この世の中に「そんな愛」があるのだろうか。後にアウカ族の方々は部族ごと救われました。深い感動と共に涙が出てきました。そして「神様、私のような者でも用いてください。」と短い祈りでしたが、祈りました。

5年後に献身し、関西聖書学院(KBI)に導かれました。卒業後5年ほど福井県大野市で伝道師として奉仕させていただきました。後に結婚し、平成4年(1992年)から武生自由キリスト教会で主人と共に奉仕させていただいております。これからも、ただ主のみ旨にかなった働きができるように願っています。そしてこの地にリバイバルが起きることを願っています。今年、私たちの教会に与えられた御言葉はイザヤ書43章19節です。

な人々が、野蛮な人々の為に命を捨

パリに遣わされて① —テロの危険—

吉田 隆

2015年2月、フランスに唯一の日本語プロテスタント教会に妻と二人で遣わされて、3か月の牧会を委ねられることになりました。前任者が日本にお帰りになることになり、その後3か月ずつ（観光ビザの許される期間）の牧師が招聘されることになったのです。

ところが、前任者の牧師夫妻がパリを発つ朝、イスラム過激派による最初のテロが起こりました。間一髪その牧師夫妻が空港に向けて出発した直後であったので、テロに巻き込まれることはありませんでした。牧師館も教会堂も、革命で有名なバステュークというところにあり、いわゆるユダヤ教の会堂が幾つかあるユダヤ人地区もすぐそばでした。

第1回目のテロは、風刺新聞社シャルリー・エブドがイスラムのムハンマドの風刺画を掲載したことが原因で襲撃されました。また、ユダヤ人食料品店が襲われました。テロの対象は、ユダヤ教徒とキリスト教徒でした。

2015年11月には、死者130名負傷者300名以上を生んだ同時多発テロが起きました。その一つはサッカー場でした。パリ教会のある会員はその現場に居合わせたそうです。爆発音が聞こえたけれども、初めは火花が何かと思ったそうです。彼は地下鉄が停止する前にそこ

から逃れることができた、と証していました。

2016年3月22日、妻と私は2回目のパリ派遣に向かうために関西空港に到着しました。すると、空港のテレビでブリュッセル空港にテロが起こったことが報道されていました。ほどなくパリの教会のメンバーからメールが届きました。パリとブリュッセルは距離が近く、パリの空港も嚴重にチェックされる可能性があるので、注意してください、とのことでした。実際、ブリュッセルの空港が閉鎖になり、各国の報道陣は取材のためにパリに乗り込みました。

後日分かったことは、パリでテロを計画していた過激派ISが、パリの警備が厳しいことから予定を変更したとのことでした。パリというと華やかな都、観光地というイメージで捉えられますが、私たちが遣わされた頃、パリは非常に危険な町でした。

その年パリからの帰路、イスタンブール経由トルコ航空のチケットを購入していたのですが、トルコのイスタンブールにあるアタテュルク国際空港で2016年6月28日にISのテロが起きました。幸い、爆破後1週間が経過していたので、空港閉鎖が解除になり、無事帰国することができました。

私たちは、非常に危険な時代に生かされています。地震や戦争に加えて、各地でテロがあります。主の守りをお祈りください。

～T P K F 三役の提言～

より良いフェロシップ再び

書記 上田勇矢



6月1日東京で三役会議を開催。翌日はJPC研修会に参加し、ペンテコステ諸教団のリーダー達と共に学びました。そこで、日本の教会が厳しい現実の中を歩んでいることを改めて知らされました。8000教会の内300教会が無牧、700教会は兼牧。プロテスタント信者で毎週礼拝に集うのは20数万人（人口比0.2%）。信者の80%が50歳以上。これらの現実問題を共有した上で、主の御業があらわされると期待し、その他、交流、互いの報告をして、祈り合う。私たちは悲観的では終わりません。3日後にはT P K F大会をオンラインで開催。三役が「神・真・新」というテーマで御言葉とヴィジョンを分かち合いました。翌週12日にはfidaインターナショナル（フィンランドの宣教団体）の総裁ハリ・ハコラ師を迎えて会合を滋賀で開催。私たちは「見よ、わたしは新しいことをする」と言われる主の御手が確かに働い

ていることを感じます。

コロナ禍の3年間においても、主は御手の業を止めておられませんでした。T P K F大会で委員長が分かち合ったように、昨年、T P K Fは「より良いフェロシップ」を目標として、イザヤ43章から御言葉を掲げました。すると、主はスウェーデンペンテコステ宣教団とのパートナーシップ契約を結ばせ、fidaとの間では、パートナーシップ契約を結んでから10年間で様々な変化がお互いの間にあり、新しい情熱をもって新たな宣教協力関係を築き上げていくことを確認しました。

三役は、T P K Fが5年後、10年後、各グループの各世代が活動的な交わりをしている幻を共有しています。その為に必要なことは「信頼関係」です。オンラインも最大限活用しますが、できる限り顔を合わせていこうと考えています。私たちは単立のペンテコステ教会ですが、フェロシップ（交わり）によって共に立ち上げられるのです。もっと皆さんと交わりを深め、暗闇の社会に主の光をT P K Fの諸教会から照らしていく存在でありたいと心から願います。

T P K F 大会説教要約

「神」「真」「新」シンTPKF! (Part 1)

6月5日(月)、10時より、2023年TPKF大会がZoomにて開催されました。今回の大会のテーマは「シンTPKF」。イザヤ書43章19節の「見よ。わたしは新しいことを行おう。」という神の御言葉を中心に掲げ、TPKF三役の芳三容子師(大会委員長)、山本義武師、上田勇矢師が、それぞれ、「新」「神」「真」という3つのテーマで、それぞれの「シン」を力強く語っていただきました。

トップバッターは福井自由キリスト教会の山本義武先生が、「神」の「シン」をテーマに語っていただきました。「よったけさん!」と呼ばれていた自らの営業マン時代をお証しいたさながら、神が、私たちの人生の節目節目に用意されているものは、「祝福」、豊かな恵みであり、そしてそれは、価なしに与えられる「賜物」、つまりプレゼントなのだということを、わかりやすく語って下さいました。多くの聖書の御言葉が引用される中、詩篇30篇5節、「まことに御怒りは束の間。いのちは恩寵のうちにある。夕暮れには涙が宿っても、朝明けには喜びの叫びがある。」という、すばらしい神の約束の中に私たちは生きているというその恵みを味わうことができました。

次にバトンを託されたのは、守山キリスト福音教会の上田勇矢師でした。「真」の「シン」をテーマに、イエス・キリストがヨハネの福音書で語っておられる「真の礼拝者」、神が切に求めておられる「まことの礼拝者」とは?を参加者と共に探っていく、そんなメッセージでした。2代目牧師としてのご苦勞の証しは、参加者のほとんどの方が、多かれ少なかれ、きっと同じような経験をされていることでしょうから、「それでも耐え忍んで、キリストにただ信頼したのか!」という感嘆と勇気を頂いたことと思います。「神の御霊に導かれる人はみな、神の子どもです。」(ローマ書8章14節)。人を恐れることなく、ひとりひとりが「神の子ども」という認識をもって、御霊の導きに従っていく時、神は必ず主の勝利を私たちに与えてくださることを学ぶ時となりました。

「神」「真」「新」シンTPKF! (Part 2)

そして、この大会の最後の説教者、アンカーを務めたのは、

大会委員長でもある、横須賀クリスチャンセンターの芳三容子師でした。「新」の「シン」をテーマにイザヤ書43章18節～21節の御言葉を通して、神が私たちに語られる、「新しいこと」に対して、どのように期待し、どのように御言葉を握りながら進んで行くかを語ってくれました。

「見たこともない、聞いたこともない」ことだから、現状を見て「ありえない!」と思うこともある、期待できないこともある、いろいろなところを通される。しかし、神様がこの日本を勝ち取るためにしっかりと準備を進めておられることを語られました。「クリスチャン人口が1%に満たない、『未伝の地』と言わざるを得ない今のこの日本の現状ではありますが、神様は、『99%以上の収穫が待っている!』というおおいなる期待をもって臨んでおられます。」と語り、神ご自身が新しいことを成し遂げてくださるのであって、その神に期待することの大切さを語りました。今、多くの地域で「日本のリバイバルのために!」という声が上がっており、今年の1月にスウェーデンで開催されたペンテコステ国際大会においても、「日本のために!」という多くの祈りがささげられたといえます。日本のリバイバルは、私たち日本人クリスチャンの願いであり、また世界中の信仰の友の祈りと願いであることを教えられ、改めてイエス・キリストの救いを語り告げるエネルギーをいただく時となり、参加者にとって感謝と喜びの時間となったことと思います。

大会の第二部では、新しく着任された先生方の紹介、新しく神学生になられた方、進級された方の紹介などがあり、第三部では、宣教師の方々の現状報告と、祈りの時が持たれ、最後はグループに分かれて交わりの時が持たれました。画面を通して、共に語り合い、励まし合い、そして最後に祈り合う時が与えられ、短い時間ではありましたが、中身の濃い充実した大会を終えることができました。(小川祐司)

2023年 T P K F 大会総括

大会委員長 芳 三容子

素晴らしい主の御名を賛美いたします。「シン・T P K F」というタイトル、みことばイザヤ書 43 章 18 節から 21 節を掲げて大会の準備を進め、主の恵みのうちに大会を開催することができました。

今回は久しぶりの教職者大会ということで対象を教職者と教会のリーダーと絞らせていただきました。新型コロナウイルスの影響で集まることができなくなり、2023 年ではできれば対面で開催したいとの願いとフェロシップの回復と強化という願いから教職者大会であれば人数が多くなりすぎないという理由と教職者のための大会をとという声が聞

こえていたからでした。結果的には安全第一ということで Zoom での開催となりましたが約 70 名の先生方姉姉が参加され、三回の聖会そして小グループに分かれてのフェロシップの時を持つことができ感謝な時となりました。

講師は T P K F 三役の先生方で「シン・T P K F」ということで神、真、新の三つのシンについて語られました。詳しくはメッセージの要約をご覧ください。

一番に神様に、次に参加された皆様に、そしてホストのイーストの先生方に心より感謝を申し上げます。



大会を終えて

金沢フィラデルフィヤ教会 宮崎一実

去る、6月5日月曜日に、第59回 T P K F 大会 2023 が、zoom にて開催されました。参加者対象者は、教職者及び教会代表者、役員の皆様であり、約 70 名の参加がありました。中には、海外からの参加や、他に予定がありながらも、移動中にまたその合間を縫って参加して下さった先生方もおられました。

今回の講師は、T P K F の三役である、芳三容子先生（横須賀クリスチャンセンター）、山本義武先生（福井自由キリスト教会）、上田勇矢先生（守山キリスト福音教会）でした。大きな期待の中、テーマは「シン・T P K F」（この場合のシンは、最近邦画等でよく使われているタイトルであり、一つの意味に固定せずシンが持つ様々な意味を持つ言葉として用いられます）ということで、三つのシン「神」山本先生、「真」上田先生、「新」芳先生、につきそれぞれ語っていただきました。

メッセージは、先生方の体験や教えられたことから、赤

裸々に語られ、参加者の心を打つ、また、チャレンジを頂けるような素晴らしいものでございました。また、第2聖会においては、新しく教職に着任された先生方のご紹介や、神学校に進まれた姉姉、学びを継続し、進級された姉姉のご紹介があり、ますます御国の働きの拡大化に希望を持つことができました。そして、それに呼応するような形で、第3聖会においては、日本国内及び世界各国で、宣教の働きをされている先生方々の現況が報告され、神様の働きに感謝し、共に祈ることができました。その後、それぞれのグループに分かれ、約 50 分の時を交わりの時として、語り合う時が持たれました。今回も残念ながら対面で聖会を持つことが叶いませんでしたが、画面を通して、これほどまでに近く顔と顔を合わせ、交わりの時間が持てたことは大変感謝であり、また素晴らしい時であったかと思います。そして、このことが、次回こそお会いして、共に時を過ごし、祝福を頂きたいという更なる強い願いにつながっていくのではないのでしょうか？ 今回大会を通し、改めて神にある姉姉妹の交わりの素晴らしさと神の働きはどのような時にも豊かに行われると実感いたしました。心から感謝申し上げます。

あかし T P K F 大会に参加して 栄シャローム福音教会 小山晶子

少しずつオンラインという形の集會に慣れてはきたものの、やはり直接皆さんにお会いしたくないという思いの中、T P K F 大会に参加いたしました。しかし蓋を開けてみれば様々な配慮の行き届いた中、中身の濃いメッセージと賛美、交わりはどれも私自身の信仰が励まされ、充実した1日を過ごすことができました。

神を愛し御言葉を愛する3名のメッセンジャー（山本義武先生、芳三容子先生、上田勇矢先生）の取り次いでくださった「シン」をテーマ軸とした命のみことば。それぞれの宣教地で奮闘しておられる先生方のご挨拶。私自身は賛美チームの一人として事前収録に加わりました。賛美チームで祈り備え、何度も何度も練習をし、撮り直し、今できる最高の賛美を主にお捧げしたいという一つ思いとなっていくことができ感謝でした。

最近では愛する方々を天に送ることが増え、淋しさを感じることもありますが、T P K F の関係が、天へと続く永遠の神の家族の交わりなのだということも改めて体験する機会となりました。



豊かな神様に信頼する

木幡キリスト福音教会 吉田和佳子

主の御名を賛美します。第59回T P K F大会がzoom上で開催されました。今回のテーマは「シンT P K F」ということで「見よ。わたしは新しいことをする」イザヤ43章18～21節が掲げられていました。

三つの「シン」（神、真、新）について、3名の先生方によって、聖会の中でメッセージが語られました。その中でも、山本義武先生が語ってくださった「神」というテーマが心に強く残りました。

「神様が荒地に川を流し、というこの川は、チョロチョロとした小川ではなく、大きな大河である。」という言葉に心が捉えられました。

私の想像していた川はどちらかというと、チョロチョロではないにしても、もっと細い川を想像していました。ですから先生がメッセージの中で「大河である」と言われた時、「ああ、いつの間にか、自分の中で神様の力を小さくしていた。偉大な神様の業を信じ、期待したい。」と、心が新しくされる思いになりました。

硬く、渴いていた心が潤され、神様の豊かさにもう一度目が開かれ、恵まれたことを感謝いたします。



ひと足、ひと足

岐阜純福音教会 小山由実

ハレルヤ！ 今回のT P K F大会は、共に祈り、心から賛美を捧げ、メッセージや宣教報告をお聞きし、小グループでのお交わりを持つことができるなど、オンライン開催であっても大変充実したひと時でした。

三つのシン（神・真・新）についてメッセージをお聞きする中で、良いお方である主が成して下さる新しく素晴らしい計画に目を向けることができました。私が真の礼拝者として生きる時、主と共に歩んでくださり、人生の道・川を造って下さること。恐れから解放して下さり、決して失望させられることはないという力強い約束を受け取ることができました。

牧師夫人同士の小グループでは、それぞれの人生の歩みを、主が確かにあわれみをもって祝福して下さっていることを確認する時となり、励まされました。

主の教会であるT P K F諸教会の歩む道を、主ご自身が豊かに導いて下さっています。その恵みの中を、私自身も日々喜びをもって歩んでいきたいと祈ります。

教会紹介

横浜フィラデルフィヤ教会

所在地：横浜市中区本牧大里町 10-12

横浜フィラデルフィヤ教会は、横浜のランドマークであるみなとみらいからほど近く、また、日本屈指の名園である三溪園の近くにあります。その始まりは、約 70 年前前にアメリカワシントン州・フィラデルフィヤ教会より派遣された宣教師ハロルド・ノーマン・ヘステキンド夫妻が、この本牧大里町の丘に初代会堂を建設した事にあり、現在の会堂は、1963 年に当時牧師であった鈴木寿々男師のもと建設され、現在も、主を愛する兄弟姉妹が共に集い賛美し、礼拝を続けています。 (宮崎一実)



平川めぐみ教会

所在地：青森県平川市光城 3-27-1

2014 年 9 月 7 日に中西ペニー師が開拓した教会。2021 年 3 月に中村師家族が来青し、共に伝道している。2021 年 12 月に良い物件が与えられ、リフォーム工事後の 2022 年 4 月に献堂式を行うとともに、平川めぐみ教会と改称。その一週間前には初の洗礼式があった。主に英会話教室による伝道を行い、ゴスペルクワイヤや手話交流活動もしている。定期的にコンサートや伝道集会があり、大勢の子どものいる賑やかな教会である。 (中西ペニー)

教会情報

【訃報】

○小松ベタニヤ福音教会

2023年4月20日(木) 鈴木勉元牧師 召天(100歳)

●就任

○雲井キリスト福音教会

7月2日(日) 山崎紫音姉伝道師就任

●献堂式

○Life Share Christian Center (守山キリスト福音教会枝教会)

5月21日(日)

津嘉山ファビオ&エリザベス宣教師

(長崎県西彼杵郡長与町嬉里郷456-23)

●キリスト福音長老執事訓練コース

7月17日(祝) フィンランド学校 講師: 朝子孝一師「Fをどうする」、テム・ラーシナ師「日本における日本伝道、牧会への提案」

書籍紹介

愛し合う二人のための結婚講座 ——わが家の小さな食卓から

大嶋裕香 著 いのちのことば社



本書には、著者がこれまで夫(大嶋重徳師・K G Kキリスト者学生会元総主事)と共に多くのカップルを家に迎え、結婚の学びをしてこられた様子や、その学びの内容が記されています。結婚前に話しておきたいことだけでなく、結婚後に話したいことも、また各章には質問リストもあるので、交際中のカップルや夫婦の分かち合いにとっても役立ちます。私も妻と交際しているときや結婚してからも、時折本書を用いて話し合っています。特に「愛されことば」と「悲しみことば」のシェア、お勧めです。

(西川牧雄)

単立ペンテコステ教会諸教会(名簿順)

北広島自由キリスト教会 / 平川めぐみ教会 / 房総中央キリスト教会 / 大佐和キリスト教会 / 町田純福音教会 / 鶴見純福音教会
 横浜フィラデルフィヤ教会 / 磯子フィラデルフィヤ教会 / 金沢フィラデルフィヤ教会 / 横須賀クリスチャンセンター
 保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル / 大和あがないの丘キリスト教会 / 戸塚カルバリ純福音教会 / 栄シャローム福音教会 / 伊勢原聖書キリスト教会
 秦野クリスチャンセンター / 北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音教会 / 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会
 甲府カルバリ純福音教会 / ハーベスト・チャーチ山梨 / 裾野純福音キリスト教会 / 御殿場純福音キリスト教会 / 富士純福音キリスト教会グレイスチャーチ
 いのちのパンの家 / 小松ベタニヤ福音教会 / 小松南部キリスト教会 / ホープハウス / 福井自由キリスト教会 / プンキョウゴスペルセンター
 松岡福音教会 / 丸岡福音キリスト教会 / 勝山自由キリスト教会 / The Lighthouse 749 (三国) / 武生自由キリスト教会
 グローリーチャーチ敦賀自由キリスト教会 / 金津福音キリスト教会 / 小浜キリスト福音教会 / 小浜キリスト福音教会三方伝道所 / 高富グレイスチャペル
 岐阜純福音教会 / 岐阜純福音白鳥教会 / 岐阜ライフチャーチ / 美濃グレイスチャーチ / 本地ヶ原自由キリスト教会
 瀬戸サレム教会 / 大阪キリスト福音教会名古屋伝道所 / 滋賀キリスト福音教会 / 守山キリスト福音教会 / 大津韓国福音教会 / 大津キリスト福音教会
 田上キリスト教会(大津キリスト福音教会伝道所) / 甲賀キリスト福音教会 / 水口キリスト福音教会 / 甲西キリスト福音教会
 雲井キリスト福音教会 / 米原キリスト福音教会 / 綾部キリスト福音教会 / 亀岡ベタニヤ教会 / 京都キリスト福音教会
 山科キリスト福音教会 / 深草キリスト福音教会 / 宇治キリストペンテコステ教会 / 木幡キリスト福音教会 / 大阪キリスト福音教会
 須磨自由キリスト教会 / 神戸フィラデルフィヤ教会 / Life Share Christian Center / 南さつまキリスト福音教会

以上の教会に1部以上を送っています。私たちの願いはすべてのTPKFの信徒が1部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。pentecost@tpkf.org

TPKFの公式ホームページ <https://tpkf.org/>

